

油断しない！安全に見えても危険かも！

～海、山、川は見た目で危険が分からない～

行楽期から気温の上昇とともに、マリンスポーツや、登山などのアウトドアレジャーが盛んになります。

自然に触れるレジャーは、楽しみがある反面、自然ならではの危険があります。

アウトドアでの事故を防ぐためには、自然を甘く見ず、危険をきちんと認識し、計画を立てて行動することが大切です。

【山岳遭難】

- ・登山の計画を立てよう！～複数人での行動や、緊急連絡先の把握～
- ・気候や天候を想定した準備をしよう！～雨具や防寒具の携行～

【水難事故防止】

- ・危険な箇所を知ろう！～危険な場所には近づかない～
- ・ライフジャケットを活用しよう！～命を守るための備えを～



中村警察署
052-452-0110
大門交番

防災は 日頃の備え 心がけ

◎防犯は日頃の備えから

- ・住んでいる避難場所や避難経路を実際に歩いてみる
- ・家族が別々になった際の連絡方法や待ち合わせ場所を確認
- ・非常持ち出し袋の準備、点検

◎台風・集中豪雨対策

- ・避難は早めの判断を
- ・テレビ、ラジオ、インターネットで情報収集
- ・火の始末、戸締りは確実に

◎地震対策

- ・家具の固定
- ・日頃から、家族で避難訓練を

こんなときにはすぐ110

- ・見慣れない人が住宅街を徘徊している。
- ・敷地内をのぞき込む人がいる。
- ・留守の隣家で物音がする。
- ・見知らぬ車がいつまでも停まっている。
- ・人が乗り込んで急発進した車を見た。



大門交番の本美（ほんみ）
です。
お気軽にご相談下さい。



自転車安全利用五則 (令和4年11月1日改正)

- 1 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用

